

歴史文化

まちが誇る文化財



長谷丹生神社のイチョウ



泉福寺の梵鐘



十三神社



熊野神社



熊野神社 石造宝篋印塔



釜滝の甌穴



野上八幡宮

人々の生活の中で、今日まで受け継がれてきた文化財。紀美野町には数多く残っています。

創建は延暦三年(七八四)で、13の神々を祀ることからその名がついたといわれる十三神社。桃山時代の建築様式が残る野上八幡宮。県下最古、12世紀後半に鑄造された泉福寺の梵鐘は、ともに国の重要文化財に指定されています。

また、熊野神社に残る、坂上田村麻呂将軍が戦勝を祈願して建てたという伝説の石造宝篋印塔や、かつて高野街道と呼ばれた国道370号が走る本町には、弘法大師の伝説として残る弘法大師の押し上げ岩があります。

そして、箕六弁財天社社叢の原生林の中には県指定天然記念物のカツラの木、どしりとして美しさが印象的な長谷丹生神社のイチョウの大樹、樹齢推定800年以上、高さ約15m、幹囲約7mという善福寺のカヤの木、急流の川底の岩面にできた釜滝の甌穴で、小石が流転し岩面を削ってきた釜滝の甌穴など多くの自然も次世代に伝える財産です。



箕六弁財天社社叢



善福寺のカヤ



弘法大師の押し上げ岩

The Town's Proudly-held Cultural Treasures

Cultural treasures of daily-life have been passed down through time until today. Many assets in Kimino town, such as historical buildings and certain protected species of trees, have been preserved to share with the next generation.